

「神奈川県プロ人材活用センター」の平成 30 年度活動状況

～開設以来、3 年間で 144 件の採用を実現～

公益財団法人神奈川産業振興センターでは、神奈川県から委託を受け、中小企業に対し「攻めの経営」の実現に必要な専門的知識・ノウハウを持った人材採用のサポート等を行う「神奈川県プロ人材活用センター」を、平成 27 年 12 月より開設しております。

このたび、「神奈川県プロ人材活用センター」についての、平成 30 年度の活動状況結果がまとまりましたのでお知らせします。

活動実績

相談件数 353 件（開設以来、累計 980 件）

登録民間人材ビジネス事業者への取り繋ぎ 178 件（開設以来、累計 539 件）

成約案件 53 件（開設以来、累計 144 件）

1 相談・成約企業の特徴

- ・業種別の相談については、製造業からの相談件数が約半数を占めている。
- ・相談・成約した企業について資本金別に比較してみると、資本金 5,000 万円以下の企業からの相談が約 8 割を占め、成約件数の割合も高い。
- ・相談・成約した企業について従業員数別に比較してみると、従業員数 50 人以下の企業からの相談が 6 割以上を占めているが、成約の割合は 200～51 人の企業の割合が高い。
- ・相談・成約した企業について売上高別に比較してみると、売上高 50 億円以下の企業の相談・成約件数が多い。（グラフ 1, 2 参照）

2 企業の人材ニーズ

- ・成約したケースを採用時の職務別にみると、経理・財務での採用が最も多くなっている。（グラフ 3 参照）
- ・成約したケースを採用時のポスト別にみると、専門職・エキスパートとしての採用が最も多く、次いで課長相当での採用が多くなっている。
- ・成約したケースを採用時の年収額別にみると、600 万円以下が約 7 割となっている。（グラフ 4 参照）

3 採用となった人材

- ・採用者を年代別にみると、40 歳代、50 歳代が多い。（グラフ 5 参照）
- ・採用者の前職の業種別でみると、採用者のスキル等が活かせる同業種間での転職が多い。

成約事例

企業名：株式会社小田原機器

代表者：丸山明義

本社所在地：神奈川県小田原市中町 1-11-3

電話番号：0465(23)0121

設立：1979年10月15日

従業員数：118名

主な事業内容：ワンマン路線バス用の運賃收受機器（運賃箱・整理券発行機・カード機器等）の設計、製造及び販売。システム開発、エンジニアリング、ソフトウェア設計。

※小田原機器グループは、1986年に世界初の自動計数式運賃箱を開発するなど、『開拓の精神で社会に奉仕する』という経営理念のもと公共交通に貢献している。公共交通を取巻く環境は、キャッシュレス技術や自動運転技術などの技術動向も含めて、急激・急速に変化してきている。こうした中、変化を先取りする為、新たなソリューション構築に取り組むことで、安全・安心・便利な公共交通の実現に取り組んでいく。

・経営課題

事業をとりまく環境の変化が激しい状況下、将来を見据えた成長戦略を展開するためには、当該事業に精通・知見を持つ管理能力者の雇用が必要であった。

・課題解決に向けた取組み

当社の前技術部長は能力が高いものの技術面の経験がなかったため、より能力を發揮できる営業部長として活躍を期待することとし、一方でソフト開発を中心に技術面での監督及び人事・予算管理を任せられる新たな技術部長を担う人材については、外部より採用することが必要と判断し、採用活動を開始した。

・結果

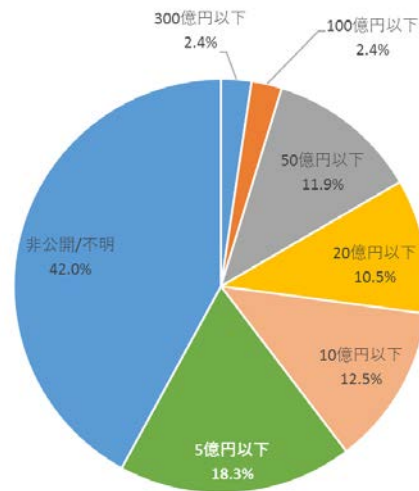
神奈川県プロ人材活用センターが当社の経営課題を的確に把握し、その上で、連携している民間人材ビジネス事業者へ取り繋ぎを行った結果、当社が希望していた知見を有し、技術面で経験豊富な人材を獲得することができ、技術部長として採用した。

問合せ先

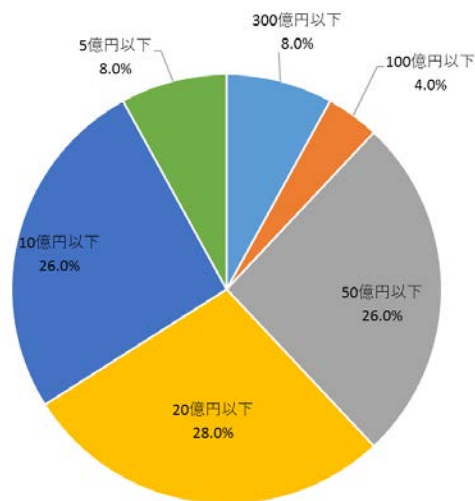
公益財団法人神奈川産業振興センター
経営支援課 恩田、関口

横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 5階
電話 045-633-5203 F A X 045-633-5018
E-mail pro@kipc.or.jp

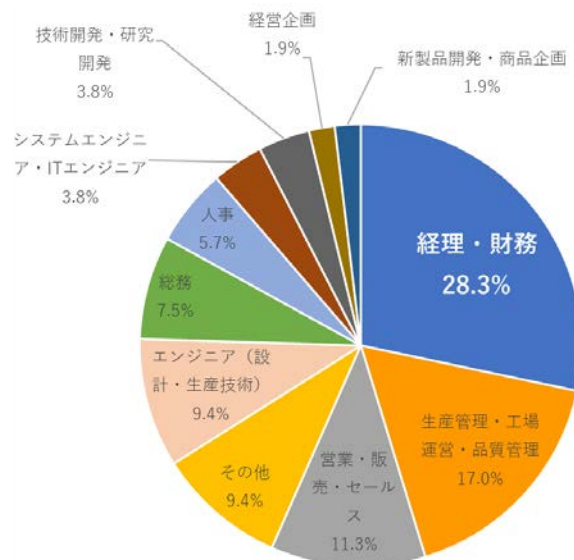
グラフ 1：売上高別 相談件数



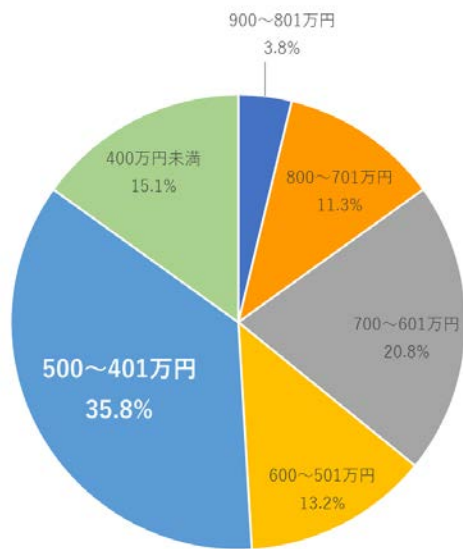
グラフ 2：売上高別 成約件数



グラフ 3：採用時の職務別



グラフ 4：採用時の年収額別



グラフ 5：採用者の年代別

